

- 教育目標
知：考えを深める子
徳：よさを認め合う子
体：心と体をきたえる子



←ホームページも
ぜひご覧ください。

南小だより

PTA奉仕作業 大変お世話になりました

先日は、多数の保護者の皆様参加のもと、PTA奉仕作業を実施しました。今週末予定の運動会と6/10予定のプール開きのために、校庭の除草作業やプール清掃を中心にご協力をいただきました。大変ありがとうございました。お陰様で、それぞれの行事の準備が整いました。保護者の皆様へは、今後ご理解・ご協力をお願いする事が多々あるかと思えます。南小の子どもたちのために、保護者の皆様と学校が力を合わせて学校運営をしていきますので、よろしく願いいたします。



5/18(土)運動会について 運動会スローガン ~「全力で ベストをつくして 走りぬけ」~

運動会について、ご連絡いたします。各学年(全児童)で共通する種目として、

- 1 徒競走(走力重視で3位までが入賞)
- 2 チャンス走(走力よりも運により3位までが入賞)
- 3 団体種目(低・中・高に分かれて実施、紅白の勝負です)
- 4 サザンクロスリレー(4チームによる全校児童参加のリレー、これも紅白の勝負です)



があります。さらに5・6年生は、鼓笛演奏の披露があります。各学年の種目の詳細については、学年だより等でご存じかもしれませんが、お子さんにもお聞きになり準備万端の上ご声援をよろしく願います。

- 当日は、7時30分から校庭を開場します。開場口は、校庭東側と西側の2箇所です。順番に並んでお待ちください。シート等での場所の確保は可能ですが、椅子やテント等での場所取りはご遠慮ください。お年寄りの方や身体的に椅子が必要な場合は、事前に担任へご相談いただき、後方で観戦するようお願いいたします。
- 全校参加の「サザンクロスリレー」ですが、1年生からスタートし、原則一人校庭を半周ずつ(アンカーのみ1周)走ります。当日都合により欠席した児童がいた場合は、代走の調整は難しいため、一律前走者が1周走ることとします。「勝負は時の運」とも言いますが、当日の状況任せでありますことご了承ください。
- 駐車場の利用は、駐車券をお持ちの方に限らせていただきます。駐車券はご来賓・担当役員・学区外・身体的理由のある方等へ発行していますので、ご希望の場合は事前に担任へお申し出ください。その他の保護者の皆様は、徒歩でのご来校にご協力をよろしくお願いいたします。
- 終了後引き渡し訓練を行います。詳細は後日お知らせいたします。

1年生の「黄色いワッペン」について

ご存じの保護者の方もいらっしゃると思いますが、今年度1年生へ配布した交通事故から守るための「黄色いワッペン」、このワッペンが残念ながら物議をかもしています。

このワッペンは、全国の1年生が毎年みずほフィナンシャルグループさんよりいただいています。今年度は60周年を記念して、ワッペンの表と裏に「ピカチュウ」がプリントされています(写真○)。

ところが、このワッペンを巡ってはマニアの間でネットを介して高値で取引(転売禁止と明記されています)されている現状があり、問題となっています。このワッペンには交通事故保険も付いており、本校では、1年生のランドセルへの取付をお願いしています。



今後登下校時に盗難やいたずら等に遭う危険を避けるためにも、1学年保護者の皆様でご心配される場合は、ワッペンをランドセルから外してください。身につけている・いないに関わらず1年間は保険が適用されるとのことですので家で保管いただいても構いません。

保護者の皆様全員で、子どもたちの安全な登下校の見守りを何とぞよろしくお願ひします。



【 校長室より 「頑張るとは？」 】

1学期が始まった始業式から、1ヶ月ほどが経ちました。私は、始業式に子どもたちへこんな話をしました。

「前文略～さて、皆さんは今、どんな気持ちで始業式に参加していますか。新しい学年のスタートにあたり、「授業に集中して取り組もう」とか、「算数が苦手だから、算数を中心に頑張ろう」とか、「友だちにめいわくをかけないようにしよう」あるいは、「委員会で、委員長になって委員会活動の中心になろう」など、一人一人が今年度のめあてを考えて、やりとげようという、強い気持ちを持っているのではないのでしょうか。その気持ちを忘れないでください。学年が変わるなどの節目、節目を大切に、しっかりと目標を持つことができる人は、成長することのできる人です。目標に、大きい小さいはありません。間近な行事や学習など目の前の目標でもよいし、先の目標でもよいです。ぜひ自分の目標を持ち、やり遂げようと頑張ってください。

いま校長先生は、「頑張ってください」と言いました。「頑張る」とは、どうすることでしょうね？(問)校長先生が考える「頑張る」は、「我慢する」ことだと思います。例えば、今校長先生が皆さんに話をしています。でも皆さんは、友達と話したいなあ、じっと立ってるのつらいなあと思うかもしれません。でもそれを我慢して、友達ともお話をしないで、体を動かさず、話している人をしっかりと見て話を聞くこと、これが「頑張る」だと思います。また別なことで例えてみましょう。家に帰ると、宿題をやりますね。でも、ゲームしてからやるのかな。友達と遊びたいなあと思うかもしれません。これを我慢して、宿題をやる。これが「頑張る」です。今、大活躍の「大谷翔平」選手も、我慢をして、つらい野球の練習をしてきたからこそ、今があるのです。つまり、我慢できる人が、頑張ることができる人と言えるでしょう。我慢強い人は、格好良いですね。目標に向かって我慢を繰り返して目標を達成してほしいと思います。でも、いつも我慢ばかりでは疲れてしまいますね。休み時間や休憩時間は、我慢の心を休ませることも大事です。我慢する時と、我慢の心を休めるけじめをつけましょう。」

頑張れ頑張れ！と大人はよく言ってしまうがちですが、子どもは「頑張る」がどのようなこと・状態なのかよく分かりません。我慢できる子は、精神的な強さも兼ね備え、集中力があり、我がまを控え、友達とのトラブルも少ない傾向にあります。南小の子どもたちが、我慢できる強い子どもたちになるよう伝えていきたいと考えています。